



白石第一小学校へ

開校15年おめでとう。そして15年間子供たちを見守ってくれてありがとう。君はぼくが入学した時から見ているから知っていると思っただろう。ぼくが入学してからいろいろなことがあったよ。コロナウイルスのせいで学校が休校になつたり、とても悲しい事故が起きてしまつたり、体育館の側にマンホールトイレができたりしたよ。ぼくが知っているのは5年半くらいだけれど、君は15年の間に名前が変わつたり、戦争や校舎の火事、震災など大変なことがたくさんあったよ。その度に学校が休みになつたりして君も不安だつたんじゃないかな。

ぼくは6年前の今ごろは早く学校に行きたくて、毎日わくわくしていたよ。入学してからは友達とけんかをしたり、時々先生におこられていやなこともあるけれど、毎日楽しいよ。夏休みとかの長い休みはもちろん好きだけれど、休みが続くと早く学校に行きたくなるよ。だから、ぼくはどうして学校に行きたくなるのか考えてみたよ。

学校にはちよと意地悪だったり、乱暴な友達もいるけれど、一緒に過ごしていると思っっていたよりも優しい意外な

校章



のぼり藤

校歌

不忘山は 峰高く
白石川は 水清し
やまと心を かたちもて
見するに 似たり
山と川

誉いやます 益箇の
輝く歴史を たどりつつ
いざや学ばん もろともに
われらは ここの
学校に

校木



いちよう

一面が見えたり、苦手だと思っていた友達と気が合つたりして新しい友達を作ることまでできる。そして一緒にたくさん経験や失敗をすること、今まで知らなかつたことを知ることができるところから学校に行きたくなると思つたんだ。

学校ってきつと「学校」という建物の事じゃなくて、みんなが過ごす空間のことなんだね。そして知らなかつた自分をみつける場所なのかもしれないね。だから、名前が変わつても、建物が変わつても、卒業してもみんな学校が大好きなんじゃないかと思つたよ。15年間そんな大切な場所できてくれてありがとう。ぼくは今6年生だからもうすぐ卒業です。卒業の年が君の15年目なんてすごい偶然だよ。ぼくに就いて一生の記念になるよ。君にとつて、この6年間は15年の内のほんの少しの期間かもしれないけれど、ここで過ごした6年間はぼくに就いて大切な年間です。そして、これから入学してくる子供たちにも、ぼくと同じような大切な年間を過ごしてほしいと思います。

今までありがとう。

そして、これからよろしくね。

美我恭心